

1) 月例会

21年4月14日(三鷹ホール)

演題 「血管内視鏡から診る冠動脈疾患」

久留米大学 心臓・血管内科 循環器病センター准教授

上野 高史 先生

遅発性血栓に対して、抗血小板薬に加えてスタチンも有効。抗血小板薬としてはパナルジンよりプラビックスを使用すべき。(パナルジンは代替薬のある危険な薬剤とガイドライン上記されている)。降圧剤としてはACE阻害薬かARBを使用。

21年5月12日(三鷹ホール)

特別講演 「COPDの日常診療の要点」

独立行政法人国立病院機構 福岡病院 院長

岩永 知秋 先生

COPDとは、一秒率70%以下の気流制限で、進行性であり、大部分は喫煙による。有病率は高いが受診率は低い。薬物療法は症状緩和が目的である。長時間作用気管支拡張のスピリーバ(抗コリン)、セレベント(β 2刺激)がある。

21年6月9日(三鷹ホール)

特別講演 「CKD対策の重要性 ～RAS抑制を中心に～」

九州大学大学院医学研究院 包括的腎不全治療学 客員准教授

鶴屋 和彦 先生

慢性腎炎の半数以上がIGA腎症で、その30-40%が末期腎不全に至る。扁桃+ステロイドパルス療法で寛解させる。タンパク尿があると悪化しやすい。RA抑制剤の蛋白抑制効果は用量依存的である。アルドステロンが病変悪化にかかわっている。

21年7月14日(三鷹ホール)

特別講演 「経口血糖降下薬の現状と将来」

福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科 講師

安西 慶三 先生

3) 研究会御案内(自由参加、5単位)

消化器懇話会(三鷹ホール)

第1月曜 19:00～ 古賀安彦先生(古賀胃腸科医院)

循環器懇話会(三鷹ホール)

第4月曜日 19:00～ 林靖生先生(原三信病院)

丸山徹先生(九州大学健康科学センター)